

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和8年3月30日

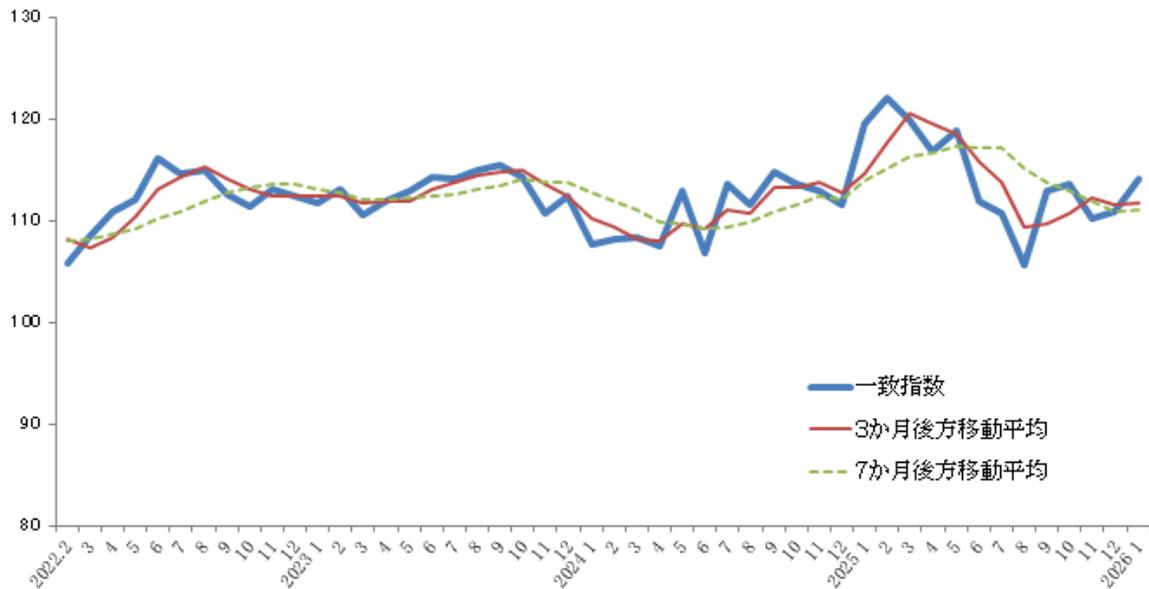
埼玉県景気動向指数（令和8年1月分）
-基調判断：6か月連続「下方への局面変化」-

景気動向指数は、生産、雇用など様々な経済分野を代表し、景気に敏感に反応する複数の景気指標の動きを統合することにより、景気の現状を迅速に把握するために作成する統合的な指標です。

1 基調判断

○景気動向指数（CI 一致指数* 114.1）は、下方への局面変化を示しています。

一致指数は、前月と比較して3.3ポイント上昇しましたが、3か月後方移動平均及び7か月後方移動平均の上昇ポイントが基準に満たないため、基調判断は6か月連続の下方への局面変化となりました。



* 一致指数は景気の動きに一致する9個の指数を合成した指数で、令和2年の年間平均を100として計算しています。

一致指数：114.1（前月差+3.3ポイント、2か月連続上昇）
3か月後方移動平均：111.7（前月差+0.17ポイント、2か月ぶり上昇）
7か月後方移動平均：111.1（前月差+0.31ポイント、8か月ぶり上昇）

2 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度
C2：県所定外労働時間指数（調査産業計）	1.20
C8：県生産財出荷指数	1.05
C9：県耐久消費財出荷指数	0.59
C5：県雇用保険初回受給者数（逆サイクル）	0.52
C1：県生産指数（製造工業）	0.41
C3：県投資財出荷指数	0.32
寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：県建築着工床面積（非居住用）	-0.73
C4：県有効求人倍率（除学卒・就業地別）	-0.05
寄与度がゼロの系列	寄与度
C7：県百貨店・スーパー商品販売額	0.00

各個別系列のウェイトは均等です。

3 埼玉県景気動向指数について（参考）

（1）景気動向指数とは

経済の各分野を代表し、景気に反応する複数の指標を合成・指数化して作成します。景気に先行する先行指数、景気に一致する一致指数、景気に遅れて動く遅行指数があります。

（2）作成方法

国（内閣府）の景気動向指数の作成方法に準じて作成しています。

※ただし、作成に使用している統計指標が国と埼玉県では異なるので、数値の単純な比較はできません。ご注意ください。

この統計に関するホームページアドレス

『彩の国統計情報館』埼玉県景気動向指数のページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/keiki-doukou-shisuu2.html>